

第Ⅰ部

ポスト冷戦期における国家とジェンダー

019

第1章

ポスト冷戦期の文化政治とジェンダー——言説の立場、困難と突破

戴錦華……

小林さつき訳・宮尾正樹監訳……

021

第2章

ホモエロティクスの政治的配置と「冷戦」——沖縄への／からのまなざしの抗争

新城郁夫……

039

第3章

不可能なることに正義を——ジェンダー・証言・人権

アン・キュビリエ……戸谷陽子訳……

055

第4章

六〇年間の強姦——韓国人「従軍慰安婦」の植民後期の傷痕

梁鉉娥……李南錦・申琪榮訳……

069

第Ⅱ部

公私の境界線とジェンダー・ポリティクス

091

第5章

法と社会における家族

マーサ・アルバートソン・ファインマン……大木直子・高橋愛訳……

093

第6章

女から生まれる——「家族」からの解放／「ファミリー」の解放

岡野八代……

106

第7章

フェミニスト運動と抵抗的知識生産——韓国の家族法改正運動の例から

申琪榮……

124

第8章

フィリピン共和国における女性とその子どもに対する

暴力対策法（RA9262）とリプロダクティブ・ヘルス／ライツ

原ひろ子・中山まき子・渡辺美穂……

148

第9章

大学院生とハラスメント——防止対策に求められる構造理解

大理奈穂子・上田智子・田宮遊子・辻智子・中島ゆり……………

176

第Ⅲ部

開発・指標・政策

205

第10章

「ジェンダーと開発」における男性の位置・再考

熊谷圭知……………

207

第11章

ジェンダーに関する統合指数の検討——ジェンダー・ギャップ指数を中心に

杉橋やよい……………

230

第12章

東アジアにおけるジェンダー・ポリテイクスの一断面——DV政策を中心に

戒能民江……………

250

初出一覧

277

著訳者紹介

279